

▶ 地域での捕獲や注意喚起



▶ 地域での捕獲や注意喚起



▶ 自治会が中心となった捕獲体制

回 覧

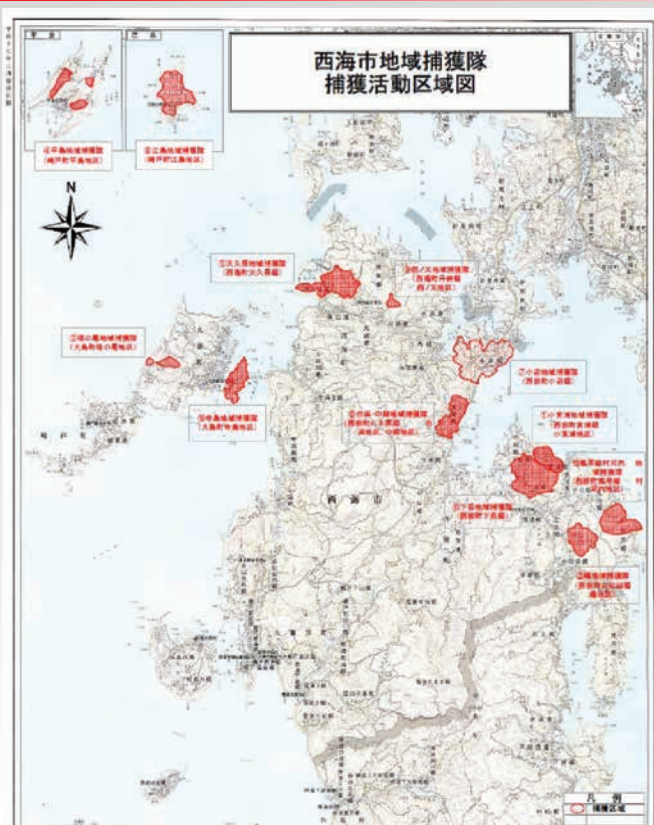
梅雨も明け、これから日々暑い日が続きます。
体調を崩されませぬよう
皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。
さて、この度寺島地区独自のイノシシ捕獲隊を
結成いたしました。
イノシシ箱ワナを寺島地区山林に11カ所
セッティングしております。山林に
入山されても、くれぐれもワナには
近寄らない様に、お願いします。
寺島地区イノシシ捕獲隊より

イノシシ捕獲安全講習風景(寺島、塔尾地区合同
実技状況 学科状況)



地域住民が自ら仲間を増やして活動を拡大

▶ 周辺地域との対策の連携や連動



対策の効果が上がると意欲も向上する

▶ 既存技術や制度の活用

■ 公務員のできる事はたかが知っている

- ・ マニュアルの作成
- ・ 研修会の開催
- ・ モデル地区
- ・ 助成制度
- ・ 条例や制度の設計

■ ただし、それらを十分活用すれば、ほとんどの事ができる



本当の意味での地域主体を目指し最大限の支援をする

最新の対策技術（捕獲編）



▶ ワナ捕獲に係る主な作業

○捕獲場所の検討



①わなの設置



②エサやり



③見回り



⑤止め刺し



⑥搬出



⑦埋焼却



▶ 捕獲作業に係る負担の事例

狩猟免許所持者(2,434名)を対象としたアンケート調査
(2012年度:有効回答数1,311件(53.9%))

